

<<明治前期日本文典の研究>>

图书基本信息

书名：<<明治前期日本文典の研究>>

13位ISBN编号：9784757601314

10位ISBN编号：475760131X

出版时间：2002/02

出版时间：和泉書院

作者：山東 功（SANTO Isao）

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：<http://www.tushu007.com>

## <<明治前期日本文典の研究>>

### 内容概要

本書は、明治前期に多く著され、国語教育の場においては教科書として使用されていた「日本文典」と称される日本語文法書群について、研究史的検討を総合的に試みたものである。

本書の論点は大きく二つあり、一つは、明治前期日本文典の検討を通じて得られた研究史に対する方法論の確定である。

研究史とは何をすべき研究か、また研究史自体の歴史性をどのように扱うべきか。

本書ではこうした方法論の実践形態として、日本語の言語学史という意味合いを込めた「日本語学史」を提唱している。

もう一つは、明治前期日本文典の内実についてである。

従来あまり評価されなかったこれらの文法研究に対して、当時の思想潮流に極めて合致したものであったという歴史性に着目し、いたずらに価値判断を下さず、文法研究の歴史性自体を示す典型例として位置付けるべきだと主張している。

そして、こうした明治前期の文法研究を体現する学者、物集高見の文法研究を詳細に追うことで、当時の研究内容が一層明らかなものとなっている。

あわせて、明治前期の言文一致と国語教育との関係を見る上で興味深い資料、物集格太『小学詞遣』の影印を収録している。

——有個叫做工藤真由美的說，這本書是「今後の日本語学史に不可欠な礎石」。

我對此不負責……

<<明治前期日本文典の研究>>

作者简介

<<明治前期日本文典の研究>>

書籍目録

- 序 日本語学史研究方法論序説
- 国語学史の成立とその意味
- 国語学史批判の陥穽
- 国語学と日本語学
- 国語学史の成立と本論の構成
- 第1部 明治前期日本文典の諸相
- 明治前期の国語教育と文法研究
- 明治前期文法研究の系統
- 洋式日本文典の研究—中根淑『日本文典』について
- 国学風日本文典の研究—佐藤誠実『語学指南』について
- 明治期文法研究の諸側面
- 第2部 物集高見の日本語学史的研究
- 国学と洋学—『初学日本文典』と物集高世
- 言文一致と国語教育—『日本文法問答』と『小学詞遣』
- 辞書と文法—『日本小文典』と近藤真琴
- 口語文法の研究—『普通日本文典』と下田歌子
- 折衷文典の完成—『日本文語』と大槻文彦

<<明治前期日本文典の研究>>

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>